



11月25日から12月1日は犯罪被害者週間です



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョウとちゃん」

犯罪被害は、いつ誰に起きるかわかりません。

犯罪被害にあわれた方やその家族・遺族の方（犯罪被害者等）が、被害から立ち直り、地域において再び平穏に過ごせるようになるためには、地域の人々の理解と配慮、協力が重要です。

大阪市では、「犯罪被害者週間」にあわせて関係機関と連携し、啓発事業を実施します。この週間を機会に犯罪被害へのご理解とご協力をお願いします。

○大阪市、大阪府、堺市、大阪府警察、認定NPO法人大阪被害者支援アドボカシーセンターが連携して実施する事業

【事業の問合せ先】大阪府市民局ダイバーシティ推進室人権企画課
電話：06-6208-7619 FAX：06-6202-7073

「犯罪被害者週間」キャンペーン

日時：平成30年11月17日（土） 14:00～15:00
場所：イオンモール堺北花田 1階センターコート
内容：犯罪被害者等支援の啓発グッズの配布、音楽演奏 など

「犯罪被害者週間」啓発パネル展

日時：平成30年11月20日（火）～11月30日（金）
（堺市役所は11月29日（木）まで）
大阪府役所および堺市役所開庁時間
場所：大阪府役所1階正面玄関ホール、堺市役所本館1階エントランスホール
内容：被害者団体や支援団体と連携し、パネルなどを展示

セレッソ大阪と連携したスタジアムでの啓発

開催日：平成30年11月24日（土）
場所：ヤンマースタジアム長居
※スタジアムへ入場する場合は、チケットが必要です。
内容：セレッソ大阪VS柏レイソルの試合（14時キックオフ）において、啓発グッズの配布などの啓発活動を実施

被害者支援シンポジウム2018

「家族が犯罪被害にあったとき～親の想い、子の想い～」

日時：平成30年12月1日（土） 13:00～16:00
場所：大阪府立男女共同参画センター中央館（クレオ大阪中央）4階セミナーホール
内容：座談会
御手洗 恭二さん（佐世保女兒殺害事件被害者遺族 父）
殺人事件被害者遺族 兄
楠本 節子さん（大阪被害者支援アドボカシーセンター顧問）

○大阪府が主催する事業

講演会（ネットワーク型市民セミナー） 「犯罪被害や被害者支援について考える」

日時：平成31年1月23日（水） 13:30～15:30
場所：阿倍野市民学習センター
内容：《講演①》
テーマ：安心して暮らせる街を目指して
講師：田畑 耕一さん（TAV 交通死被害者の会 事務局長）
《講演②》
テーマ：「犯罪被害にあう」ということ～あなたに知ってほしいこと、あなたにできること～
講師：塩見 直子さん
（認定NPO法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター 犯罪被害相談員）

参加費：無料

定員：50人（先着順）

申込：阿倍野市民学習センターの窓口、電話、ファックス、
「いちようネット」にて受付

※手話通訳希望者は1月9日（水）までに要申込

【講演会問合せ先】阿倍野市民学習センター

電話：06-6634-7951 FAX：06-6634-7954

犯罪被害者等支援のための総合相談窓口

大阪市では、「犯罪被害者等支援のための総合相談窓口」を設置し、犯罪被害者等からの相談を受け付けています。

【場所】市民局ダイバーシティ推進室人権企画課（大阪府役所4階北側）

【時間】9:00～17:30（土日・祝日・年末年始を除く）

【電話】06-6208-7619 【FAX】06-6202-7073



おおさか歴史探訪 129

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

天下茶屋遊園地跡

— 漱石も楽しんだ公園 —

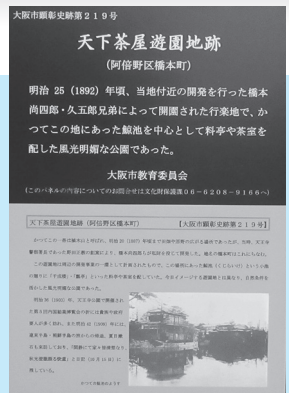
大阪歴史探訪第104回(2016年8月号掲載)で明治44(1911)年に夏目漱石が講演を行った先代の市立公会堂のことを取り上げましたが、今回は漱石が訪れた「天下茶屋遊園地」について紹介します。

天下茶屋遊園地があったのは現在の阿倍野区橋本町です。その一帯は、かつては植木山と呼ばれ、明治20(1887)年頃まで田畑や原野の広がる場所でしたが、当時、天王寺警察署長であった野田正教からの助言を受けて、橋本尚四郎・久五郎兄弟が私財を投じて明治25(1892)年頃から開発を行いました。地名の橋本町はこの兄弟にちなむものです。

遊園地は周辺の開発事業の一環として計画されたもので、この場所にあった鯨池という小さな池の廻りに「千成楼」・「瓢亭」といった料亭や茶室が設けられていました。今日イメージする遊園地とは異なり、自然を活かした風光明媚な公園だったようです。

天王寺公園をメイン会場として開催された第5回国内勧業博覧会[明治36(1903)年]の時には、多くの貴族や政府要人がここを訪れました。そして明治42(1909)年、遼東半島・朝鮮半島の旅からの帰途に漱石も来訪し、「閑静にて家々皆清楚なり、秋光澄徹頗る快意」と日記(10月15日)に残しています。また、小説『行人』（大正元～2年に朝日新聞に連載）にも、天下茶屋遊園地近くの知人宅を訪れた時のことが素材として使われ、別荘地となっていた付近の情景などがよく描写されています。読んでみると漱石の目から見た大阪の街の印象がうかがえ、とても興味深く感じられます。今も遊園地に隣接してつくられた「小西朝陽館」という別荘の一つが残っており、国の登録有形文化財となっています。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



市立晴明丘小学校前にある顕彰パネル